

## 第1回木曾地区酒米現地検討会を開催しました

令和5年度から木曾農業農村支援センターでは、地元産の酒米を地元の酒蔵に提供する産地づくりを重点課題に位置付け、県で育成した酒造好適米「山恵錦」の生産振興に取り組み始めました。

今年度は木曾管内の酒造メーカー4蔵に、「山恵錦」の需要を確認し、次年度以降の酒米生産者の確保と生産体制の構築を進めています。7月31日には、第1回木曾地区酒米現地検討会を開催し、酒造メーカーと生産者、JA木曾が参集する中、「山恵錦」等の酒米の現地展示圃で出穂期等の品種特性を観察し、専技、農業試験場育種部の研究員を講師に招き、「山恵錦」等酒米の栽培特性、醸造特性について研修しました。また酒造メーカーと生産者が意見交換をして、地元産酒米の供給体制づくりにおける課題について検討を始めました。8月30日には第2回酒米現地検討会を開催し、成熟期の酒米の観察と、地元産酒米の供給体制づくりに向けて生産者と実需者の意見交換を進める予定です。

